

建設の機械化

1994.1

No.527



◆巻頭言 新しい時代の幕開けに期待する	長尾 満	1
◆特集・次世代の社会資本・公共施設		
社会資本整備の方向性について	戸谷 有一	3
治水事業における技術開発について	池田 茂	8
21世紀に向けた新たな道路構造のあり方 ——人間の復権, ゆとりある生活空間づくりに向けて——	木谷 信之	11
未来を拓く下水道——その展望と課題——	清水 俊昭	17
官庁施設整備の役割と今後の展開	藤田 伊織	21
21世紀にむけての鉄道の技術開発	井狩 利男	25
空港の新世紀	佐藤 浩孝	28
21世紀へ向けた港湾技術	宮地 豊	33
次世代の電力技術——電力貯蔵——	堀口 和弘	36
農業・農村整備の課題と展望	小川 恒昭	40

グラビヤ——次世代の社会資本・公共施設

全自動ビル建設システムの施工	薬科 全興・中村 俊男	45
◆ずいそう エッフェル塔	野尻 陽一	50
◆ずいそう 輝く目	白村 晋	52

JCMA

目 次



楕円断面 TBM の開発 藤井 崇弘・平田 昌孝・石原 金洋・ 長尾 邦充・山崎 敏弘	54
130 t 級大型ブルドーザ (D575 A-2) の開発 浅原 達士	58
◆海外情報.....	62
◆新工法紹介 03-93 逆打工法 地下工事資材の搬送システム フ ジタ/05-34 SIMAR 工法 (吸水型振動棒締固め工法) 前田建設 工業/10-23 トランスファーカー自動運転システム 鴻池組..... 調査 部 会	64
◆新機種紹介..... 調査 部 会	67
◆統 計 建設投資推計ほか..... 調査 部 会	73
行事一覽.....	74
編集後記..... (今岡・渡辺・平田・石崎)	78

◇表紙写真説明◇

R 400 ロータリ除雪車 東洋運搬機株式会社

本機は、昭和 53 年 10 月に発売されて以来、多雪地帯除雪、山岳地帯の春山除雪、空港除雪等において抜群の作業性を発揮し、官公庁・民間ともに絶大なる信頼を受けている。

主な特長は、410 PS の高出力エンジン搭載と適当な車重バランスにより、新雪の高速除雪、深雪除雪、拡幅除雪などに優れた能力を発揮する。

また、3 段階の投雪距離選択と大きな範囲の投雪角度調整が可能であり、直下投雪、横断投雪などの除雪作業にも適応できる。

なお、写真は長野県・乗鞍岳山頂付近における春山除雪作業の風景である。

＜主な性能＞

最大除雪量.....	3,000 t/hr
最大投雪距離.....	46 m
最大除雪幅.....	2,600 mm
定格出力.....	410 PS/2,000 rpm
除雪機構高さ.....	1,800 mm
車両総重量 (乗員 3 名含む).....	19,215 kg